

第39回 区政世論調査 結果のあらまし

■ 調査の概要

- | | |
|----------|---|
| (1) 調査対象 | 中央区に居住する満20歳以上の男女個人 |
| (2) 対象者 | 2,000人 |
| (3) 抽出方法 | 無作為抽出法
平成21年4月30日現在の住民基本台帳に登録された満20歳以上の男女97,115人より一定の割合で系統的に抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (5) 調査時期 | 平成21年6月2日(火)～6月16日(火) |
| (6) 調査項目 | ① 定住性
② 健康
③ 高齢者対策
④ 子育て支援
⑤ 区政情報(テレビ広報)
⑥ 防犯対策
⑦ 防災対策
⑧ 生涯学習・スポーツ
⑨ 河川・運河を活用した舟運
⑩ 施策の要望・評価 |
| (7) 調査結果 | 別紙のとおり(抜粋) |
| (8) 調査機関 | 株式会社株式会社サーベイリサーチセンター |
| (9) 回収結果 | 回収数 1,001 回収率 50.1% |

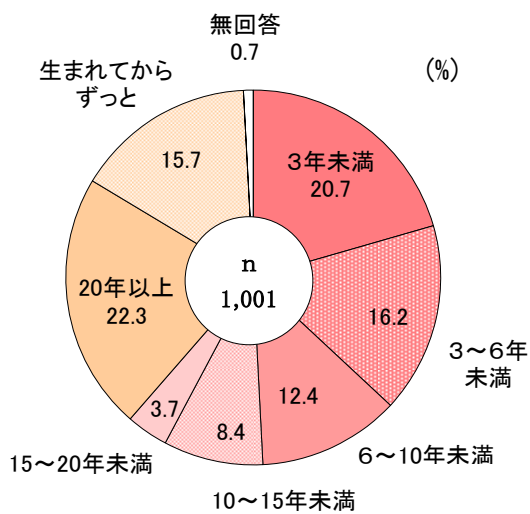
1 定住性

■ 居住年数

『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は38.0%で約4割である。

また、『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は36.9%である。

これまでのおおまかな傾向としては、平成16年からは、『短期居住者』が増加傾向にあり、『長期居住者』が減少傾向にある。

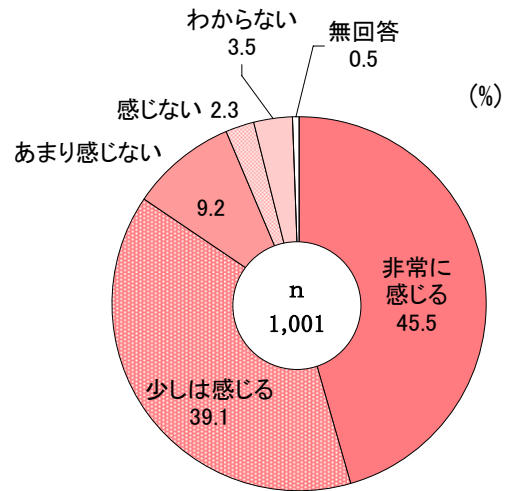


■ 愛着心

愛着心を『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は84.6%と高い。

一方、愛着心を『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は11.5%にとどまっている。

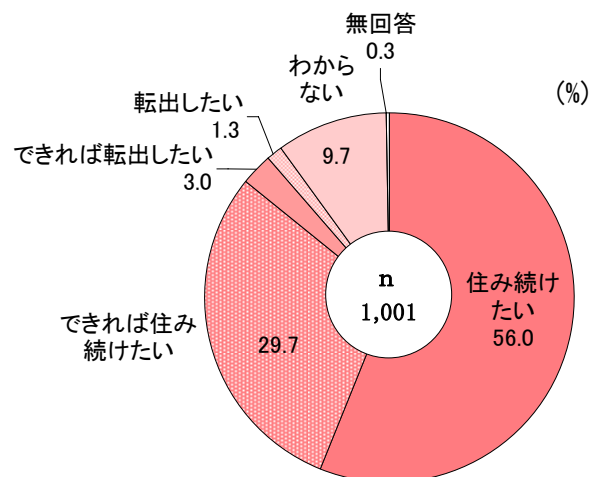
過去の調査と比較すると、愛着心を『感じる』は近年増加傾向にある。



■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は85.7%で8割台半ばである。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は4.3%にとどまっている。

過去の調査と比較すると、『定住意向』は、平成8年から平成12年にかけて減少したが、それ以降はおおむね増加傾向にある。

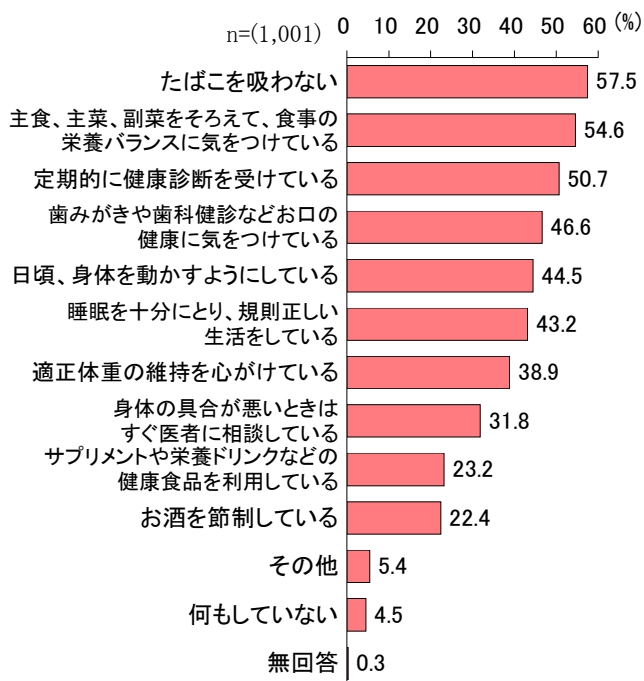


2 健康

健康についての心がけ

健康についての心がけは、「たばこを吸わない」(57.5%)が約6割で最も高く、以下、「主食、主菜、副菜をそろえて、食事の栄養バランスに気をつけている」(54.6%)、「定期的に健康診断を受けている」(50.7%)などが半数を超え続けている。

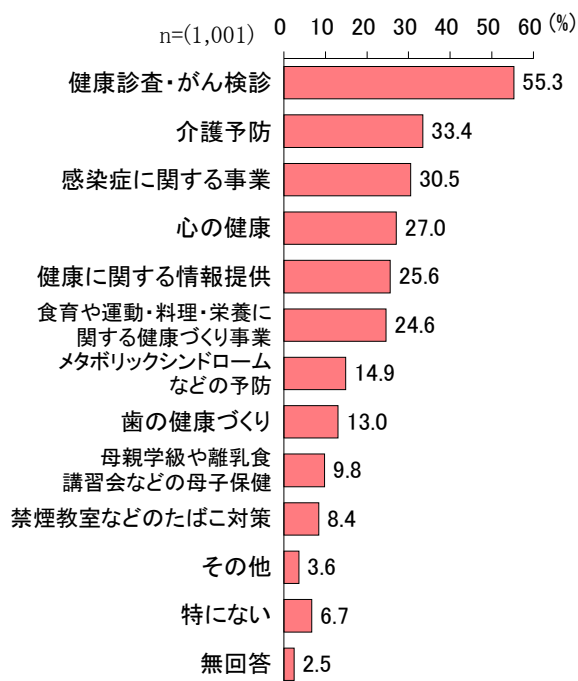
昨年の調査結果と比較すると、「お酒を節制している」が6ポイント減少し、「主食、主菜、副菜をそろえて、食事の栄養バランスに気をつけている」が5ポイント減少している。



区に望む健康維持のための施策

区に望む健康維持のための施策は、「健康診査・がん検診」(55.3%)が5割台半ばで最も高く、以下、「介護予防」(33.4%)、「感染症に関する事業」(30.5%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「健康に関する情報提供」が5ポイント減少し、「介護予防」が4ポイント増加している。

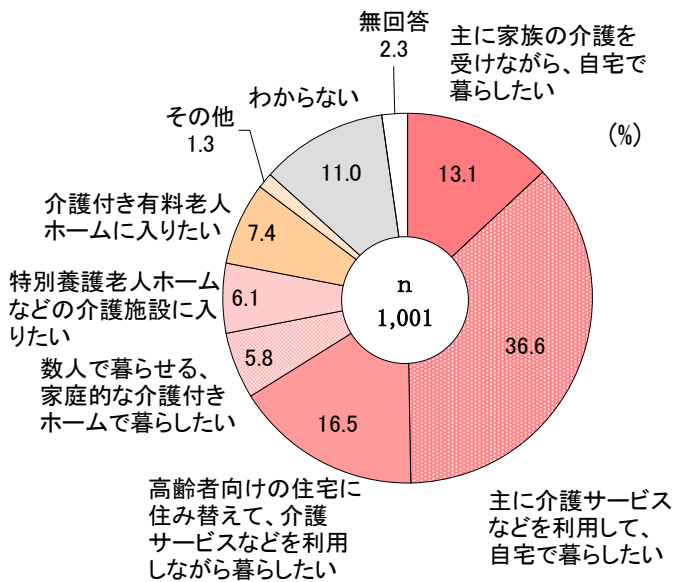


3 高齢者対策

■要介護時における暮らし方

要介護時における暮らし方は、『自宅で暮らしたい』（「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」と「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の合計）が49.7%で約5割である。

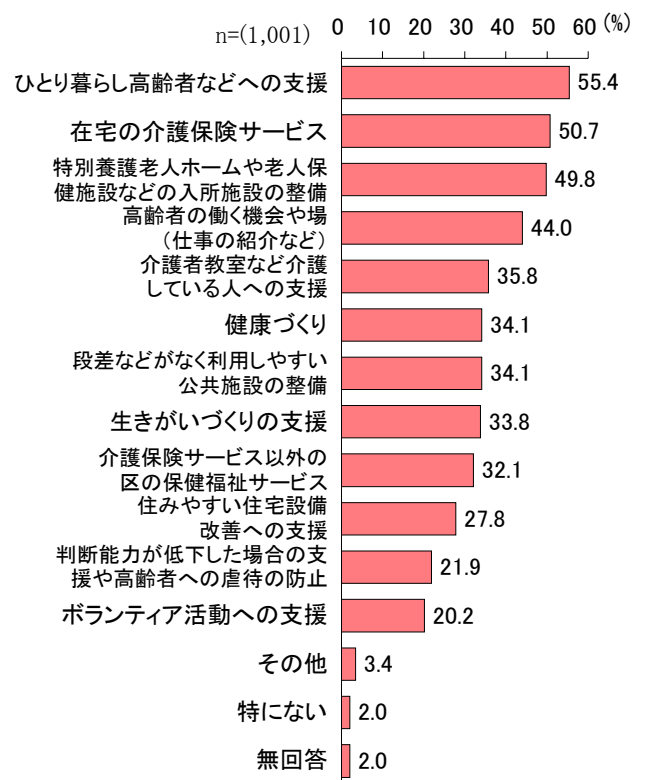
過去の調査と比較すると、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は平成17年以降減少傾向にある。「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は、平成19年以降は増加傾向がみられる。



■区に望む高齢者保健福祉サービス

区に望む高齢者保健福祉サービスは、「ひとり暮らし高齢者などへの支援」（55.4%）が5割台半ばで最も高く、以下、「在宅の介護保険サービス」（50.7%）、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所施設の整備」（49.8%）などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「健康づくり」、「住みやすい住宅設備改善への支援」、「判断能力が低下した場合の支援や高齢者への虐待の防止」などで6ポイント減少している。

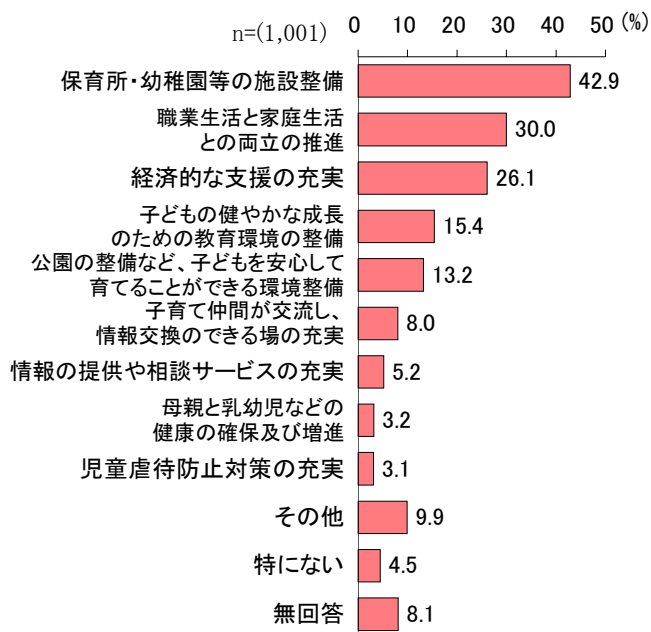


4 子育て支援

■ 区に望む子育て支援策

区に望む子育て支援策は、「保育所・幼稚園等の施設整備」(42.9%)が4割を超え最も高く、以下、「職業生活と家庭生活との両立の推進」(30.0%)、「経済的な支援の充実」(26.1%)などが続いている。

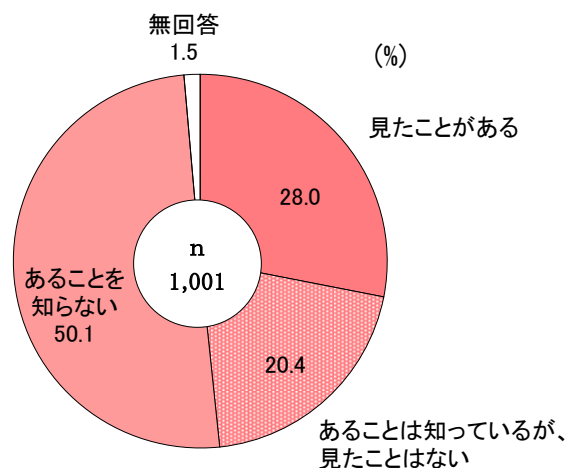
昨年の調査結果と比較すると、「子どもの健やかな成長のための教育環境の整備」と「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」が5ポイント減少している。



5 区政情報（テレビ広報）

■ 広報番組「こんにちは 中央区です」の認知度

広報番組「こんにちは 中央区です」の認知度は、「見たことがある」が28.0%で、「あることは知っているが、見たことはない」は20.4%となっている。これらを合わせると、あることを『知っている』(48.4%)は約5割で、「あることを知らない」(50.1%)と二分している。

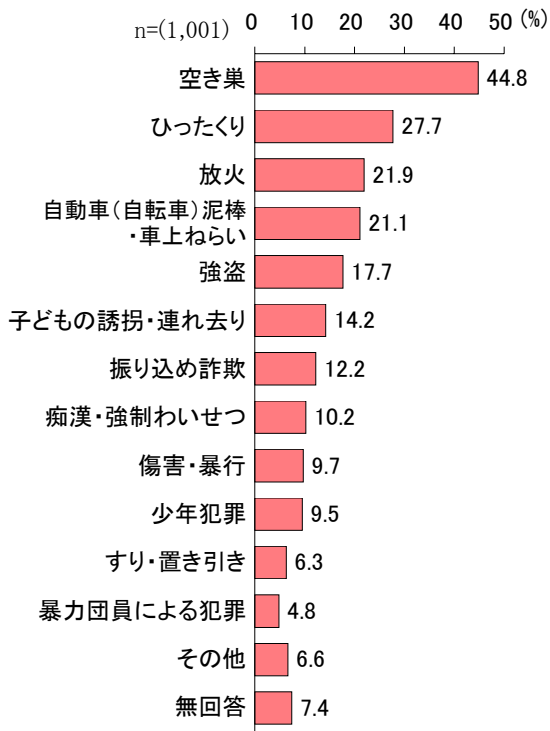


6 防犯対策

■不安を感じる犯罪

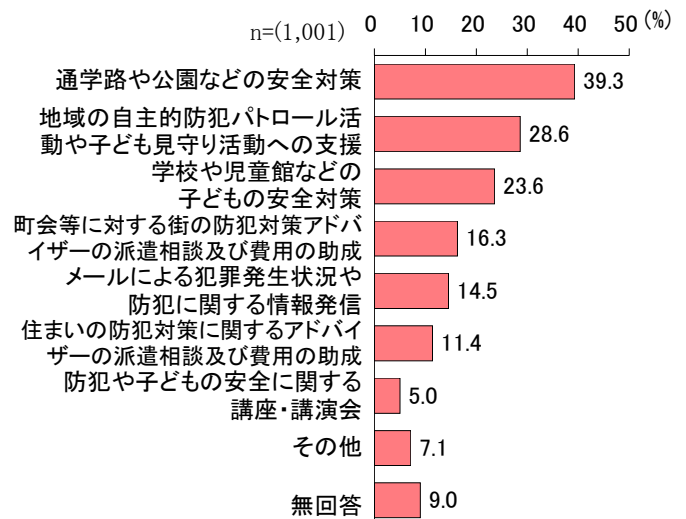
不安を感じる犯罪は、「空き巣」(44.8%)が4割台半ばで最も高く、以下、「ひったくり」(27.7%)、「放火」(21.9%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(21.1%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「ひったくり」が8ポイント、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」が7ポイント増加している。一方、「痴漢・強制わいせつ」と「傷害・暴行」がそれぞれ8ポイント、「振り込め詐欺」と「少年犯罪」がそれぞれ6ポイント減少している。



■区に特に力を入れてほしい施策

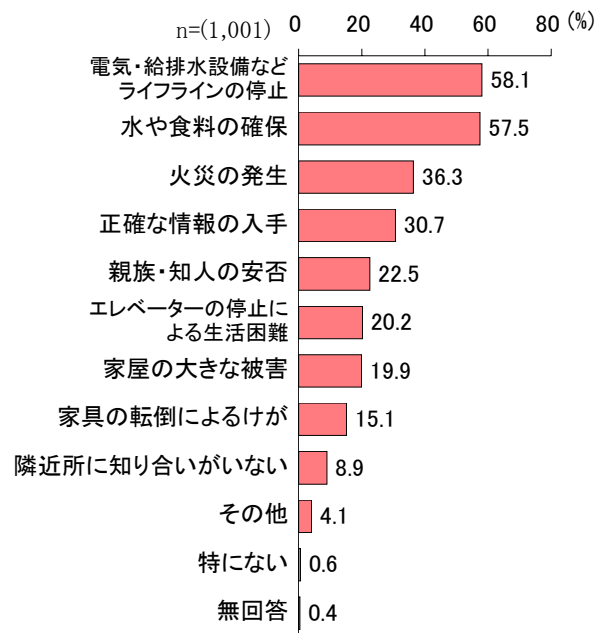
区に特に力を入れてほしい施策は、「通学路や公園などの安全対策」(39.3%)が約4割で最も高く、以下、「地域の自主的防犯パトロール活動や子ども見守り活動への支援」(28.6%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(23.6%)、「町会、自治会等に対する街の防犯対策に関するアドバイザーの派遣相談及び費用の助成」(16.3%)などが続いている。



7 防災対策

■ご自宅で心配なこと

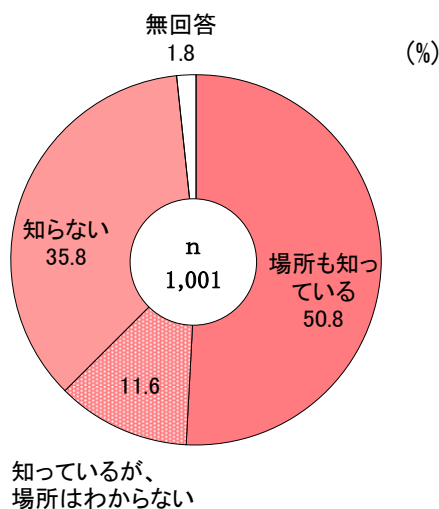
ご自宅で心配なことは、「電気・給排水設備などライフラインの停止」(58.1%)と「水や食料の確保」(57.5%)が約6割で高く、以下、「火災の発生」(36.3%)、「正確な情報の入手」(30.7%)などが続いている。



■防災拠点の認知

防災拠点の認知は、「場所も知っている」が50.8%で最も高くなっている。一方、「知らない」が35.8%となっている。

過去の調査結果と比較すると、近年は、「場所も知っている」は、おおむね横ばいで推移している。

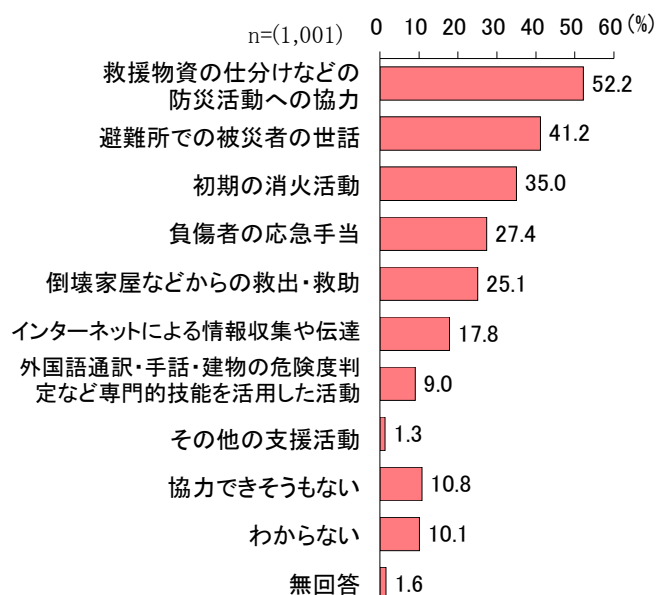


■災害時に協力できる活動

災害時に協力できる活動は、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」(52.2%)が5割を超え最も高く、以下、「避難所での被災者の世話」(41.2%)、「初期の消火活動」(35.0%)などが続いている。

一方、「協力できそうもない」が10.8%となっている。

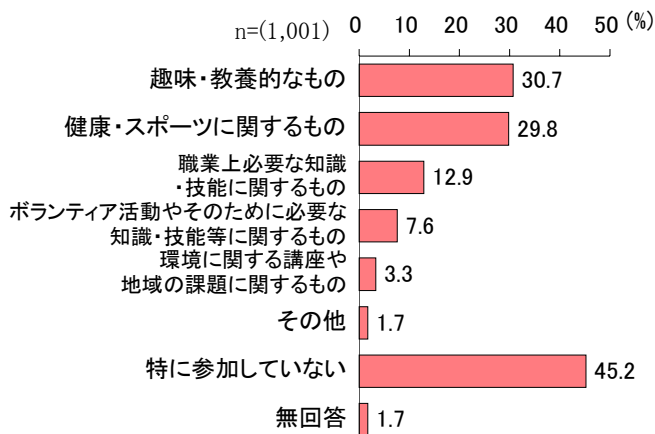
昨年の調査結果と比較すると、「負傷者の応急手当」が5ポイント増加している。



8 生涯学習・スポーツ

■生涯学習への参加

生涯学習への参加は、「趣味・教養的なもの」(30.7%)と「健康・スポーツに関するもの」(29.8%)が3割前後となっている。ただし、「特に参加していない」(45.2%)が4割台半ばと最も高い。

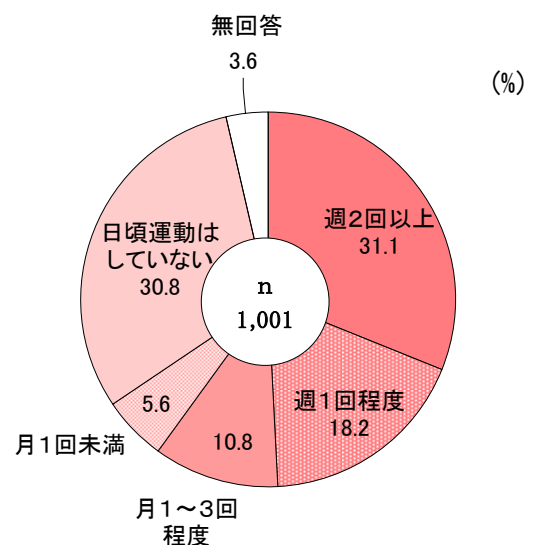


■日頃の運動状況

日頃の運動状況は、「週2回以上」が31.1%で最も高く、次いで、「週1回程度」(18.2%)が約2割である。

一方、「日頃運動はしていない」が30.8%となっている。

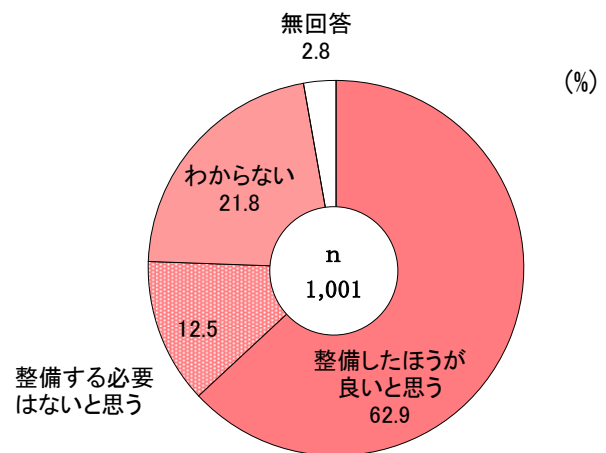
過去の調査結果と比較すると、平成19年よりも「日頃運動はしていない」は6ポイント減少している。



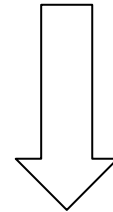
9 河川・運河を活用した舟運

■舟運による交通ネットワーク整備 に対する考え

舟運による交通ネットワーク整備に対する考えは、「整備したほうが良いと思う」が62.9%と高く、「整備する必要はないと思う」が12.5%となっている。

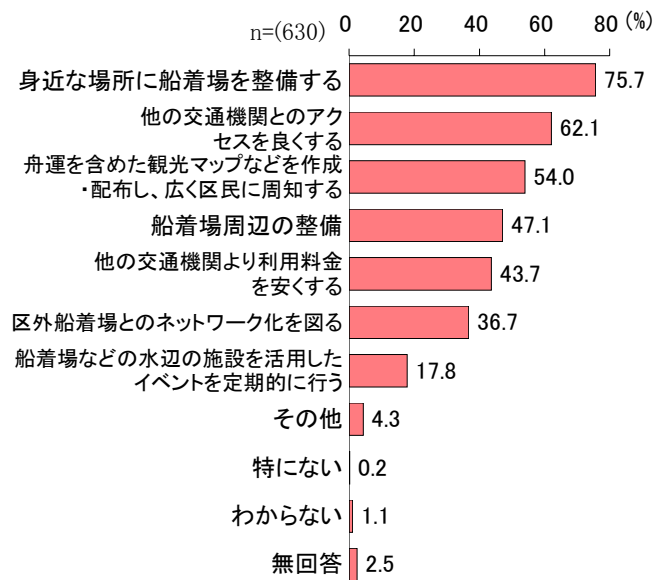


「整備した
ほうが良い
と思う」と
回答した方
に



■舟運による交通ネットワーク整備 に必要なこと

舟運による交通ネットワーク整備に必要なことは、「身近な場所に船着場を整備する」(75.7%)が7割台半ばで最も高くなっている。以下、「他の交通機関とのアクセスを良くする」(62.1%)、「舟運を含めた観光マップなどを作成・配布し、広く区民に周知する」(54.0%)、「船着場周辺の整備」(47.1%)などが続いている。

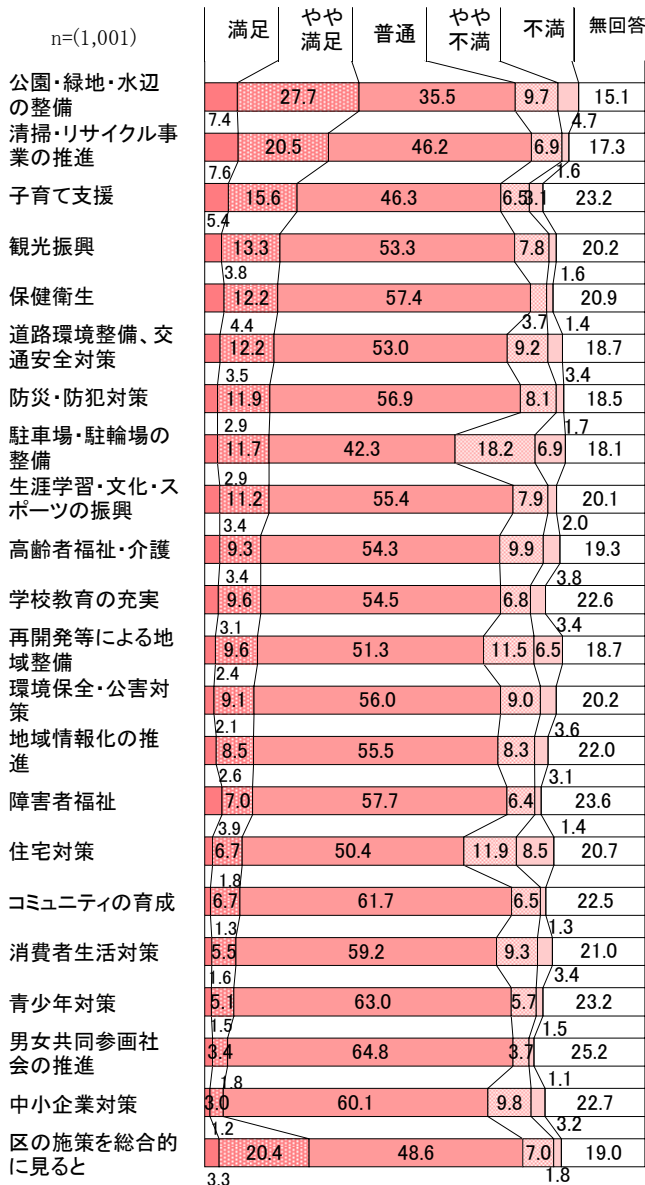


10 施策の要望・評価

■ 区の施策の満足度

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合のそれぞれの上位5項目をあげると次のようになる。

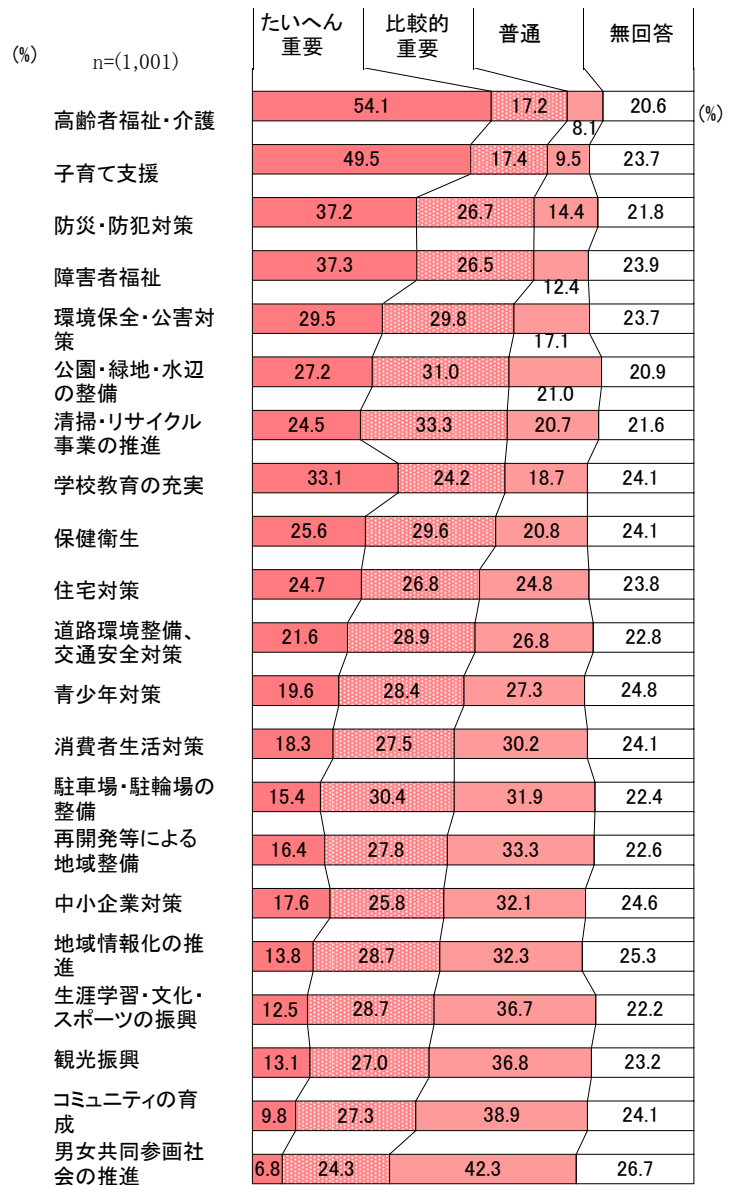
- 『満足』 ①公園・緑地・水辺の整備 (35.1%)
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (28.1%)
 ③子育て支援 (21.0%)
 ④観光振興 (17.1%)
 ⑤保健衛生 (16.6%)
- 『不満足』 ①駐車場・駐輪場の整備 (25.1%)
 ②住宅対策 (20.4%)
 ③再開発等による地域整備 (18.0%)
 ④公園・緑地・水辺の整備 (14.4%)
 ⑤高齢者福祉・介護 (13.7%)



■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①高齢者福祉・介護 (71.3%)
 ②子育て支援 (66.9%)
 ③防災・防犯対策 (63.9%)
 ④障害者福祉 (63.8%)
 ⑤環境保全・公害対策 (59.3%)
- 下位 ①男女共同参画社会の推進 (31.1%)
 ②コミュニティの育成 (37.1%)
 ③観光振興 (40.1%)
 ④生涯学習・文化・スポーツの振興 (41.2%)
 ⑤地域情報化の推進 (42.5%)



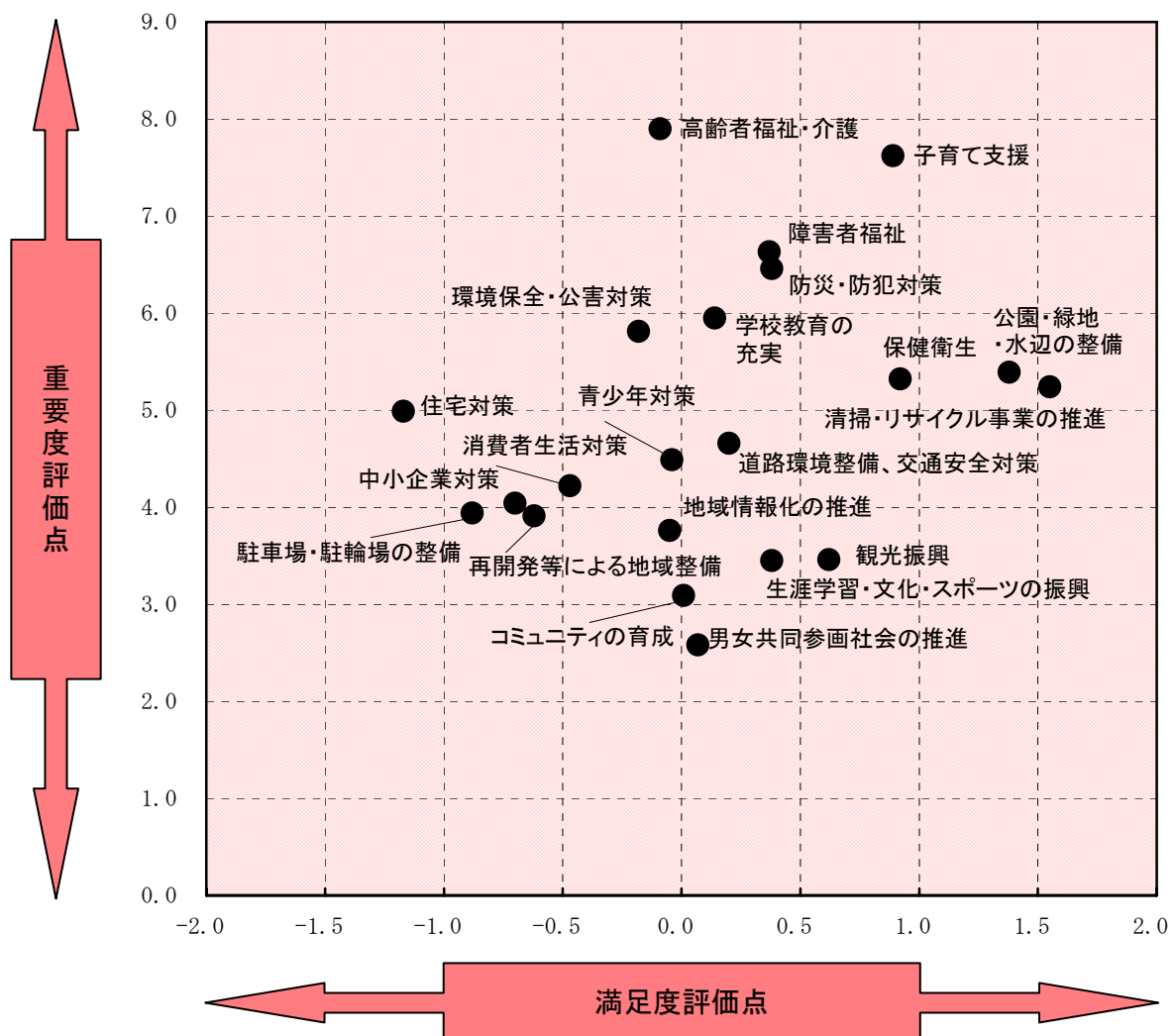
■ 区の施策の満足度と重要度の相関

加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成した。横軸が満足度評価点で、縦軸が重要度評価点である。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\text{満足度評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

$$\text{重要度評価点} = \frac{(\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



■ 区の施策への要望

区の施策への要望は、1位が「高齢者福祉・介護」（47.6%）、2位が「子育て支援」（32.0%）、3位は「防災・防犯対策」（21.0%）となっている。

